

「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の取り組み

兵庫県丹波市立西小学校

研究主題：『笑うかどのに口福きたる』 ～主体的な健口づくりをめざして～

本校は、兵庫県丹波市氷上町の西に位置し、「かどの」という地区にあります。昨年度より、研究指定をいただき、児童が生涯にわたって、自分の歯と口の健康に関心を持ち、主体的に『健口』を維持できるよう、そして、将来幸せに（『口福』）に人生を送ることができるよう、この研究主題のもと、取り組んでいます。

今年度、10月25日に、学校関係者、歯科医会、保護者の方を招いて研究発表会を開催し、公開授業および研究の成果を発表いたしました。その発表の中から一部を抜粋し、本校での取り組みを紹介いたします。

【本校の取り組み】

研究主題を『笑うかどのに口福きたる』～主体的な健口づくりをめざして～と題して、「安全・体育」、「保健」、「食育」の3領域についての以下の重点目標、



- ①自分の歯や口の健康状態を理解し、安全に気をつけて生活する。
- ②歯や歯肉の病気予防に必要な歯のみがき方と食生活を知り、歯と口の健康を保持増進する態度や習慣を身につけ、生活化へつなげる。
- ③「健口づくり」を通して全身の健康づくりへと行動を広げることができる。

を定め、校内研修における授業づくりと実践、学校歯科医による講演、柔道整復師による丈夫な体づくりのための実技指導、給食センター栄養教諭の食育指導など、様々な角度からアプローチを行い、本校研究推進委員会を中心とした研究体制のもと、実践を行ってきました。

結果、児童の実態として、食後の歯みがき習慣の向上、歯みがきの方法や意識の変化、食べ方や食事マナーの向上が見られました。また、授業で学習したことを給食時、運動、その他学校生活の中で指導することで、生活化につながってきています。これは、児童が「歯と口の健康づくり」について関心を持ち、主体的に「健口」を保持増進する意識高揚であると考えられます。

今後も継続して、授業内容や指導法の改善を目指すとともに、児童の将来にわたる「健口」意識をより高められるよう、関係機関との連携を充実させ、家庭や地域を巻き込んだ取り組みができるよう推進してまいります。



学校歯科医による指導



歯みがき大会



ブラッシング指導



体づくり運動



授業(噛むことの大切さ)